

食に関する指導の全体計画

【生徒の実態】
 ・朝ごはんを毎日食べる生徒 79%
 ・自分は給食に嫌いなものが出て、残さず食べることができる42%
 ・朝食や夕食の時に「いただきます」、「ごちそうさま」のあいさつをしている 52.3%
【保護者・地域の実態】

和泉中学校 教育目標
 ①たくましく健やかな生徒～努力～
 ②美しい心の生徒～誠実～
 ③たゆみなく学ぶ生徒～自律～

【第3次食育推進基本計画】
 ・朝食を欠食する子 0%
【第3次和泉市食育推進計画平成30年～令和4年】
 ・朝食をほぼ毎日食べている人の増加 95%以上
 ・食事の際、「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつを必ずしている人の割合の増加 75%以上
【和泉市教育委員会指導指針】

食育の視点
 ◇食事の重要性 ◇心身の健康
 ◇食品を選択する能力 ◇感謝の心
 ◇社会性 ◇食文化

食に関する指導の目標
 (知識・技能) 食に関する正しい知識を習得し、食の大切さ、楽しさを知る。
 (思考力・判断力・表現力) 自らの食生活を振り返り、心身の成長・健康増進のための望ましい食習慣を身につける。
 (学びに向かう力・人間性等) 日本・地域の食文化を理解し、感謝の心・食事マナーを身に付け、円滑な人間関係の形成をめざす。

輝け和泉こはく学園
(国府・伯太・黒鳥小学校)
<小中一貫食育目標>
 三食しっかりバランスよく食べる子どもを育てる。

各学年の食に関する指導の目標		
1年	2年	3年
・バランスのとれた食事のとりかたの習得、健全な成長に必要な食事への理解と実践 ・規則正しい食生活への理解と習慣 ・日本の伝統行事食、地域の食に関する理解	・会食のマナーと思いやりの心の育成 ・栄養に関する正しい知識の理解 ・地球的資源としての食料への理解	・日常の食を豊かにするための社会性のある行動の育成 ・食に関する情報の正しい選択 ・グローバル化した食の関心と理解

食育推進組織
 (学校保健安全部)
 委員長: 保健主事 委員: 保健主事、養護教諭、栄養教諭、各学年教諭1～2名(給食主任)
 (食物アレルギー対策委員会)
 校長、養護教諭、栄養教諭、学年教諭

食に関する指導
 教科における食に関する指導: 関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
 社会、理科、技術・家庭、保健体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 等
 給食の時間における食に関する指導: 食に関する指導: 献立を通して学習、教科等で学習したことを確認
 給食指導: 準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
 個別的な相談指導: 肥満・やせ傾向、食物アレルギー・疾患、偏食、スポーツ

地場産物の活用
 ・和泉市産・大阪産食材を使った献立の採用(市統一献立): 和泉市米、白みそ、いちごジャム、みかん、ふき等
 ・和泉市食材の給食への活用(エコ野菜)
 ・地場産物等の校内放送や指導カードを使用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動と関連を図る

家庭・地域との連携
 ○給食ニュースの発行 ○保健便りの発行 ○校区食育通信の発行 ○PTA給食試食会 ○クリーン作戦の豚汁炊き出し(12月)
 ○校区学校保健委員会(1月)

食育推進の評価
 活動指標: 食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整
 成果指標: 食生活アンケート、保護者アンケート(PTA 試食会)、学校アンケート